

大根引く余る力を声に出し

屯田町 川上みよ子

小雪舞う大地をつつむ子守唄

西町 金澤 頼子

出雲社の太い柱や年暮るる

緑町 齋藤 嘉子

心音の高まりにも似て雪の声

仲町 坂部 和子

去年今年厨の刃物研ぎ揃え

屯田町 古屋 克江

聞き捨ての愚痴も集めて雪を掃く

南校町 宮腰 幸子

茶の席の袂に冬日たたずめり

仲町 玉野 研一

行き交ひし人それぞれの年の果

仲町 徳井 隆男

バス停の雪の乱舞の長かりし

西岡町 渋谷ミサ子

枯菊を束ねて終の香を惜しむ

屯田町 竹内スミエ

枯かずら命あずけてからみけり

藤本町 池田 良子

故郷の一夜覚むれば雪布団

旭町 大河 茂

冬帽子妻が深めにかぶるとき

旭町 宝沢 房子

霜百丈いきいき誇る菊のあり

仲町 梅基 敬子

きりたんぼ食み あかさね 靴の母偲ぶ

屯田町 伊藤 タカ

霜柱さくりと崩れ無情かな

旭町 大河内清枝

着ぶくれて我が家一周見廻りぬ

西町 岸波 君江

冬帽子つかれも見せず明日を待つ

西町 小島アキ子

農閑期胸に句心湧くゆとり

元町 鹿野登美子

みどり児とありて優しさ増す冬陽

東町 高草木喜代子

落葉焚く心に記するもの秘めて

西原町 清水その枝

母の忌の近づき師走忙しなく

西町 文梨 清子

秋麗ら京のみやげに古都偲ぶ

西岡町 高瀬久美子

アカシヤの蜂蜜買うや秋深し

藤本町 高井 孝子

大師前といふ駅名初詣

仲町 芳賀 星子

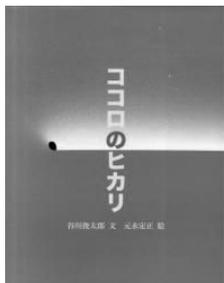


information

絵本の館から



今月のおすすめ絵本



ココロの七か

谷川俊太郎(文)
元永定正(絵)
文研出版

剣淵のお子さんたちにはおなじみの絵本、『もこもこ』の2人が、新しい絵本を作りました。谷川さんの「リズムカ」な文と元永さんの鮮やかな七かりの絵が、読んでいる人の「ココロ」に直接響くように感じます。大人になればなるほど「味わえる」絵本だと思います。



シニガミさん

宮西達也(作・絵)
えほんの社

宮西さんの絵本でよく登場する「オオカミ」と「ブタ」さん。今回は少し様子が違い、その2匹の死ぬ時期を決める「シニガミさん」が出ています。病のブタを懸命に看病しているオオカミを冷静に見つめるシニガミ。自分の後ろにもシニガミがいるのかもと、ドキッとしました。

新着図書

- ・生命樹 奥田寛著
 - ・ひとり 吉本隆明著
 - ・科学の本っておもしろい
科学読物研究会編
- ほか